

2023年12月29日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社構造計画研究所に「人的資本経営推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社構造計画研究所（代表執行役社長：渡邊 太門）に対し、「人的資本経営推進分析融資」を実施いたしました。

「人的資本経営推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業の人的資本経営に関する取組や情報開示を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社構造計画研究所に対する評価結果は、人的資本経営において良好な取り組みと情報開示を実施されているとの評価となりました。

人的資本経営の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 経営層、マネージャ層については、個人が MVA（ミッション、ビジョン、アクション）を目標として設定し、全社レベルでの評価会で評価する仕組みを構築するなど、各自が推進すべき戦略上の目標を明確にし、その目標に対する進捗を公正に評価する運用を丁寧に実行されています。
- ② 取締役が「次世代人才育成統括責任者」となり、長期的な視点で人材の確保・育成を行う方針を明確にしておられます。キャリアの節目毎に、これまでの振り返りと将来ビジョンを描く研修を実施するなど、個人の育成を細やかにフォローする体制を整備されています。
- ③ 各部門に教育担当者を配置し、部門毎の活動方針に基づいた教育計画を策定しつつ、個人の主体性を重視しながら部門と個人ですり合わせ、リスキルを促しておられます。大学や海外のパートナー企業への出向など、外部組織とも積極的に連携されています。

三井住友銀行では、「人的資本経営推進分析融資」により、お客さまの人的資本経営への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 人的資本経営とは

人的資本経営とは人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方を指します。

以 上